



Sakura Food Co., Ltd.



Company outline

➤会社名： **Sakura Food Co.,LTD.**
(サクラフード 株式会社)

代表取締役社長 温井音也 (Otoya NUKUI)

資本金 : US\$ 8,117,000
 設立 : 1995年9月 ⇒2019年新工場稼働
 事業内容 : 水産・農産品加工、三国間貿易
 従業員 : 220名
 決算期 : 12月
 年商 : 14.6億円 (2021年12月期)
 取扱商品 : サーモン、その他魚類、冷凍果実
 キャパ : 1,800トン/年
 現行品サーモンスライス製品ベース



ホーチミンから北東450km
 ➤カムラン空港まで約1時間フライト
 風光明媚なビーチリゾート
 カインホア省：人口125万人



■ ベトナム カインホア省
カムラムのスーヤオ工業団地





Parent Company & Group



ASAHI SHOKUHIN CO.,LTD.

Year2022 Sales Amount

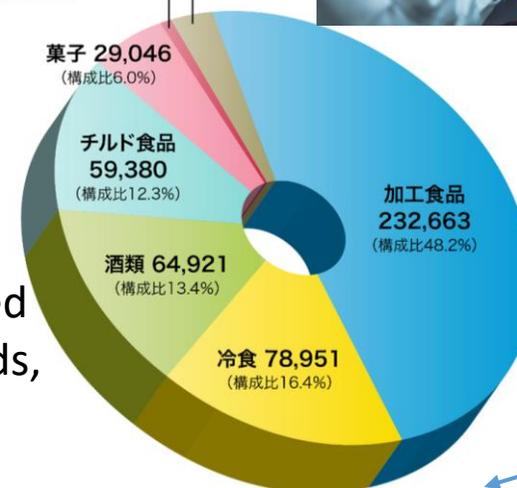
482,834 Mil JPY (4,828億円 ≒ US \$ 3,714 Mil)

Employees : 2,859 People

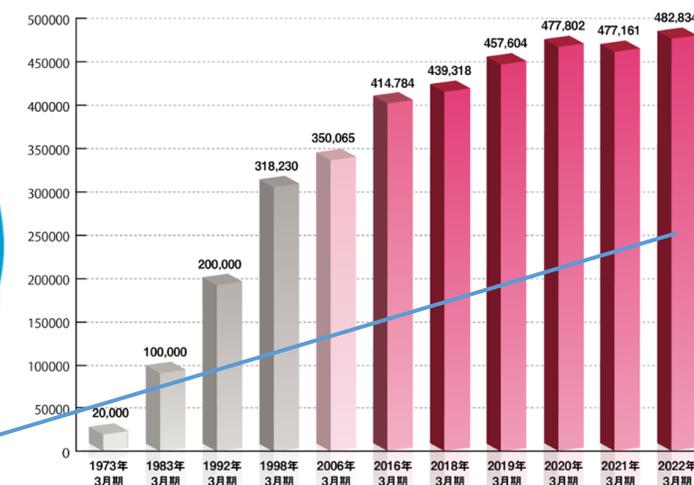
Foundation : Oct.3 1923



その他 14,236
(構成比2.9%)
家庭用品 3,634
(構成比0.8%)



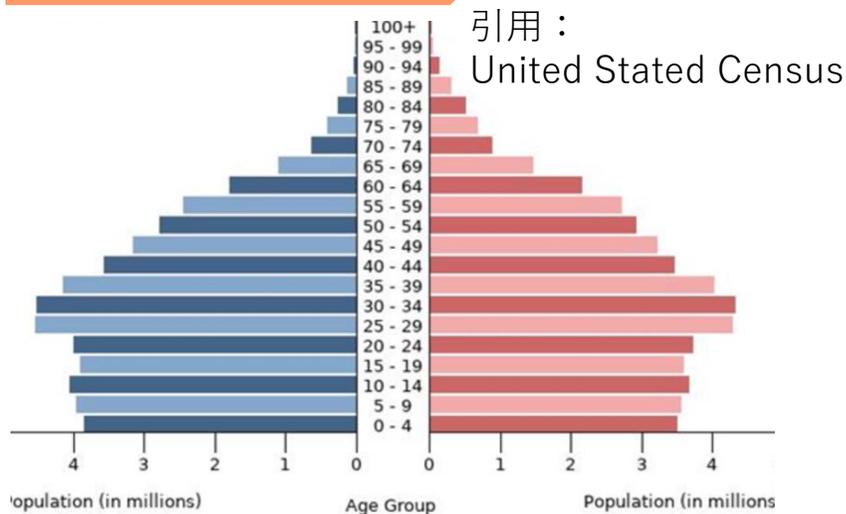
【Year 2022 JPY 482,834】



➤ Wholesale of foods, Logistic facility and support

Wholesale of general processed foods, frozen foods, chilled foods, alcoholic beverages, confectionery, household goods, hotel business

豊富な労働供給量



- 2021年人口：9,816万人
25～34歳世代が1600万人以上と最大層
- 東南アジア圏において3位の人口
(1位：インドネシア、2位：フィリピン)
- 理想的な釣鐘型の人口ピラミッド
23年以降も安定的労働供給が見込まれる

- 労働力人口（15歳以上）
2022年56,150千人（全体57%）、計算上23年以降も増加を続けこの先10年間で190万人超の新規労働力増加が見込まれる
ベトナムの人口の約65%（2019年）は農村部に集中
ホーチミン、ハノイなど都市部に比べ労働力確保が容易
- 交通インフラ整備
都心/農村部の物流ギャップ減少
農村部における物流デメリットは感じない
- 産業別の労働者割合 (パーセンテージ)

産業	2008年	2010年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
農林水産業	52.3	49.5	44.0	41.9	40.2	38.1	34.7	32.8
工業・建設業	19.3	20.9	22.8	24.7	25.7	26.6	29.4	30.9
サービス産業	28.4	29.5	33.1	33.4	34.1	35.3	35.9	36.3

出所：ベトナム統計総局

減少傾向の農林水産業において、人員確保には立地場所、工場設備・福利厚生整備が重要

安価な労働費用

➤2010年～10年間で3倍以上となるも、アジア圏では依然安価な労働力（下記平均月収推移）

中国 \$ 531 ≒ 64,000円、タイ \$ 447 ≒ 54,000円、インドネシア \$ 360 ≒ 43,000円

製造業進出が相次ぐアジア圏において、ベトナムは依然として魅力的な製造拠点

年度		2010年	2012年	2014年	2016年	2018年	2020年
平均月収	VND(ドン)	1,387K	2,000K	2,637K	3,098K	3,874K	4,230K
	VND200/Yen換算	¥6,935	¥10,000	¥13,185	¥15,490	¥19,370	¥21,150

※ 最低賃金は省（地域）により異なり、307万ドン～都心部では442万ドン

➤労働費用の地域格差

地域		2010年	2020年
都市部	VND(ドン)	2,130K	5,538K
	VND200/Yen換算	¥10,650	¥27,690
農村部	VND(ドン)	1,070K	3,480K
	VND200/Yen換算	¥5,350	¥17,400

都心部/農村部の給料格差は4割程度

製造業において中国からの移管が進む

特に農村部での製造業において強みあり

Our Company's Advantage -01

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



環境(Environment)

太陽光パネルによる自然エネルギーの活用
LED照明による省エネ化、売電収益もあり

社会(Social)

大型送迎バス x 2台所有
近隣農村からの送迎



医務室（看護師常駐）、食堂、休憩施設完備
栄養バランスの取れた食事と宿泊可能な設備



ベテランワーカーの安定確保
コロナ禍における安定的な稼働

コロナによる工業団地内出入り禁止期間
⇒ワーカー宿泊での製造対応により供給

Our Company's Advantage -02

日系企業連携による設備設計



- フードセーフティー
ハード・ソフトの両面における安全管理



FDA登録
EUコード取得
実績あり

- 工場内室温管理、電解処理水システム
滅菌・菌数管理の徹底、社内教育プログラムの構築

- 保有設備・機材
IQF凍結機 × 2台
キャス凍結機 × 1台、ブラストフリーザー × 1台
真空パック機 × 5台
自動計量リパック機 × 1台
金属探知機 × 2台、X線 × 1台 その他、多数あり

Our Company's Products

➤水産加工品



各種切り身

寿司ネタ



粉付け、炙り加工など

バキューム/RTE規格対応



養殖産業 x 保税加工 ⇒ 輸出販売



魚種により三国間加工貿易から、
ベトナム産加工輸出まで幅広く
取り扱い

➤農産加工品



➤冷凍フルーツリパック加工
輸入品 ⇒ 保税リパック ⇒ 輸出

➤ベトナム産農産原料の加工
パイナップル、バナナ、マンゴー
⇒ 生鮮原料～冷凍加工など

【ベトナムポテンシャル】

- ・冷凍マンゴー：対日2,000トン超
- ・冷凍パイナップル：対日 300トン超

※2021年通関統計（無糖冷凍）



JAS有機認証申請中
保税選別加工・保管費用面において
コストメリットあり

Our Company's Products (Salmon)

➤水産、主力サーモン商品一例

魚種：サーモン(アトラン、トラウト)
 部位：赤身、ハラス ※ハラスはアトランのみ
 製品：赤身スライス
 ハラススライス(炙り有/無)、ハラス棒(炙り有/無)
 フィーレなど
 産地：ノルウェー、チリなど



フィーレ加工各種(骨取り、皮、ハラス有無)	ハラスステック 各種規格可能	炙りハラスステック 各種規格可能	スキンレス 9gスライス グラム設定、各種規格可能	皮つき炙り 7gスライス グラム設定、各種規格可能

➤規格： 手切り加工で1g単位のスライス設定が可能、荷姿も要望に応じ柔軟対応
 包材デザイン、オリジナルパッケージなどでPB対応も容易に作れます。

➤商流： 少量のサンプル試作、テスト販売対応も柔軟対応⇒ MOQは案件スピードにあわせ要相談
原料支給、保税委託加工～原料&製品提案まで、ご希望にあわせ提案いたします。

Our Company's Products (IQF Fruits)

➤ 農産、選別・リパック事業



自社冷凍倉庫：原料保管～製品保管庫、超低温完備（ $-25^{\circ}\text{C} \times 350\text{m}^2$, 超定温庫 $-55^{\circ}\text{C} \times 130\text{m}^2$, $-25^{\circ}\text{C} \times 180\text{m}^2$ ）

リパック作業：豊富なワーカーによる目視選別 + 日本製 ISHIDA の自動計量包装機導入

➤ 保税加工メリット提案（選別～リパック～保管）

 コスト面

- ・ 輸出入保管を含めた一環請負によるコストメリット
- ・ 決済条件による資金繰り、在庫調整（与信確認条件）

 品質面

- ・ JAS有機を含む、各種認証取得、自社ラボでの検査体制
- ・ 目視選別、手詰めリパックなど特殊対応

Our Company's Products & Vision

成長市場でのビジネス展開

生産拠点から販売市場への移行

- 日系外食・食品メーカーの進出が進む

食品企業の先行投資が進む中、ベトナム国内ではロジスティックを有する食品商社・卸が少なく原材料の安定供給に難あり（高価格・品揃え不足）

※ 現地ロータスGでも商品取扱いは限られる
日系商社と連携により供給・販売基盤構築

➤ ASEAN市場向けPB商品の増強



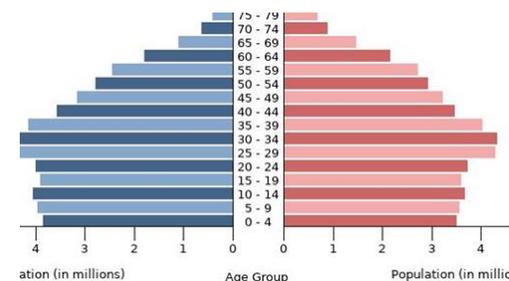
SakuraFoodをハブに商品開発・販売
ベトナム市場参入を進める

ASEAN向け缶チューハイ「和食問屋」

【ベトナム成長市場への参入】

【成長市場の根拠】

世帯所得分布推移より 10年後の成長市場であることは明確

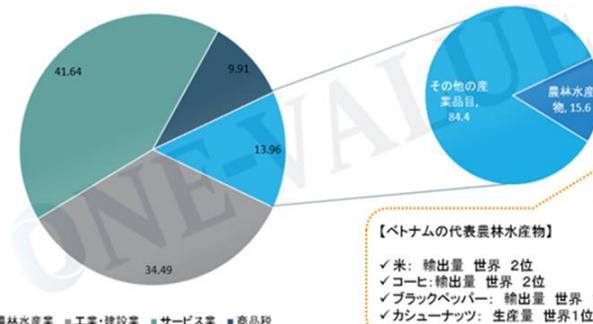


人口9,816万人
25~35歳がピーク

■ 世帯所得の拡大:

中間所得以上 \$ 5,000~34,999の層が、2000年12%
⇒2020年52%へと急拡大

【アグリビジネス深掘り】



2019年GDPの14%が農林水産物
総輸出額の15.6%が農林水産物
ペッパー、カシューは世界1位

【ベトナムの代表農林水産物】

- ✓米: 輸出量 世界 2位
- ✓コーヒー: 輸出量 世界 2位
- ✓ブラックペッパー: 輸出量 世界 1位
- ✓カシューナッツ: 生産量 世界 1位

多様な気候帯により、
高原野菜からカカオまで
近年生産増加